

# 令和元年度 鹿児島県水産技術開発センター研究報告会 開催要領

1 日時:令和2年1月31日(金) 14:00~16:15

[ポスター発表 13:00~16:30]

2 場所:かごしま県民交流センター(鹿児島市山下町14-50)

## 3 プログラム

1)口頭発表(14:00~16:15 東棟3階大研修室第2)

- ・「カンショでん粉から生産した機能性糖アンヒドロフルクトース」  
～アンヒドロフルクトースを添加したさつまあげの開発～  
水産食品部 研究専門員 久保 満
- ・「霧島市天降川におけるアユの産卵場造成技術の開発」  
漁場環境部 研究員 市末拓海
- ・「鹿児島県海域におけるサバ類の漁獲動向と来遊予測」  
資源管理部 研究員 福元亨介
- ・「イワガキ種苗量産技術開発の現状と課題」  
企画・栽培養殖部 研究員 小菌勇貴

2)ポスター発表(13:00~16:30 東棟3階中研修室第2)

※ 研究成果等についてポスターを展示し、13時から14時まで担当研究員が質問等に対応します。

(発表課題)

- ・ビンナガとカツオの漁場予測
- ・天然ウナギの標識放流調査
- ・赤潮防除剤－入来モンモリの強化版,改良型粘土とは－
- ・令和元年八代海で発生したシャットネラ赤潮
- ・指宿市岩本でのインターバルカメラによる植食性魚類解析
- ・カンパチ人工種苗の現状
- ・スマの養殖試験
- ・近年の魚病発生の状況
- ・「有機セレン化合物」投与によるブリ飼育試験

- ・奄美海域のスジアラ資源
- ・シラスと暖水波及
- ・薩南海域の旋網におけるゴマサバ漁況予測手法の検討
- ・ウニ駆除によるホンダワラ類の回復試験－Ⅱ
- ・平成30年に八代海で発生したシャットネラ赤潮
- ・天降川におけるアユの成熟と産卵場造成試験
- ・カンショでん粉とオゴノリ酵素により生産されるアンヒドロフルクトースの  
静菌用途開発
- ・魚類養殖業におけるワクチン効果
- ・ブリ人工種苗の中間育成
- ・スジアラの種苗生産技術開発
- ・イワガキの種苗量産技術開発

(漁場)

- ・天然ウナギの標識放流調査
- ・赤潮防除剤－改良型粘土とは－
- ・指宿市岩本でのインターバルカメラによる植食性魚類解析
- ・令和元年八代海で発生したシャットネラ赤潮

(栽培)

- ・スマの種苗育成試験